



ホストタウンニュース HOST TOWN NEWS

2021年2月

みなさん、「ホストタウン」って聞いたことありますか？

ホストタウンは、東京2020オリンピック・パラリンピック大会(東京大会)に参加を予定している国や地域と、様々な分野で交流する取り組みです。

交流は、東京大会で終わりではなく、東京大会をきっかけとしてその後も続けていくことで、地域の活性化、多文化共生社会の実現、グローバル化の推進などに活かしていきます。

2021年1月29日現在、517の自治体がホストタウンとして登録されており、交流を行う相手国・地域は183にも上ります。

吉川市は2020年12月2日に中国のマカオを交流相手としてホストタウンに登録されました。

この『HOST TOWN NEWS』(ホストタウンニュース)では、ホストタウンの取り組みや、マカオの紹介など、ホストタウンに関する情報をお届けします。

吉川市のホストタウン交流の相手であるマカオは、中国の都市です。

実はマカオはマカオ単独でのオリンピックの出場権がなく、パラリンピックにのみ参加します。

まずはマカオが参加するパラリンピックについて、簡単にご紹介します。



☞ ホストタウンのロゴマーク
マークの中の「beyond」は「超えて」という意味。

もうひとつのオリンピック

パラリンピックは、障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツの祭典です。4年に一度、オリンピックの終了後に同じ場所で開催されています。

オリンピックに沿う(Para)という意味でパラリンピックという名称が定められました。*

パラリンピックの起源は、1948年に開かれた戦争で脊椎を損傷した兵士の、リハビリを兼ねたアーチェリーの大会です。この大会が後に国際大

会へと発展し、1960年にロンドンで第1回パラリンピック大会が開催されました。

東京大会では、2021年8月24日の開会式から、9月5日の閉会式までの約2週間に22の競技が実施されます。

競技の中には、ボッチャやゴールボールといった、パラリンピックにしかない競技も多数あります。

※ パラリンピックの名称の由来は諸説あります。

参考:公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ホームページ

